

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	救急救命士等養成事業		担当部署	消防本部 予防課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	救急救命士法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 5年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		救急			
施策	3	救急救助・医療体制の充実			
基本事業	1	救急体制の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ①消防吏員のうち、救急課程修了者で救急業務を5年以上、または2000時間乗務した者 ②救急救命士の資格を取得した者														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	救急出場時の救急救命士乗車率を100%にする。また救急救命士の資格を有する職員が実施できる高度な救命処置(特定行為)についてもその質を確保し、維持向上を図るため、講習、研修等に派遣する。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	救急救命士を養成するために九州研修所に職員を派遣する。また救急救命士の有資格者が実施できる高度な救命処置についてもその質を確保し維持向上を図るため気管挿管実習1名、ビデオ喉頭鏡実習1名、処置拡大に伴う追加講習に2名派遣する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救命士の乗車率</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	実習・講座への派遣研修の実施 指導救命士の養成					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 救急救命士(実働数)	18	17	18	18	18	人
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	救命士の乗車率	100	100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	4,516	4,516
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	4,516	4,516
		決算額	0	0	0	0	3,434	3,434
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.1	0.0	732	4,166			

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	3,267	3,434	4,348	4,348	4,000
	うち一般財源	3,267	3,434	4,348	4,348	4,000
	人件費	723	732	732	732	732
	総事業費	3,990	4,166	5,080	5,080	4,732

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		100%乗車させたことにより応急処置等一定の質が確保できた。
	効率性	A:効率的だった		隊の割り振り等により効果的に目標を達成できた。
②成果に対する評価	指標名	救命士の乗車率		目標としていた救急救命士の救急乗車率100%を達成できた。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		計画どおり救急救命九州研修所や講習等に派遣させる事ができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現状、救急出場と火災・救助出場重複時には、非番員召集ならびに本部職員で対応していますが十分な救急救命士数とはいえません。救急救命士の乗車率100%を維持しながら今後、救急救命士に求められる高度な処置に対応するため研修等への派遣、救急救命士の複数乗車を考慮し、引き続き救急救命士の養成を行います。				
	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	計画どおり救急救命士の養成、研修等に派遣する			
	R2年度	計画どおり救急救命士の養成、研修等に派遣する			